



京都観音めぐり

洛陽三十三所観音霊場再興二十周年記念

出開帳・お砂踏み巡礼 於 浅草寺

記念法要 於 浅草寺 本堂

2025年 3月6日(木) 午後2時45分

お練り 於 雷門から浅草寺 本堂

午後2時30分出発(雨天中止)

お砂踏み巡礼 於 浅草寺 境内 特設会場

2025年 3月6日(木)から9日(日)

午前10時から午後5時

同時開催

京都物産市 Kyoto Market

京都の有名店が期間中
浅草寺境内に出店いたします。

出店予定店

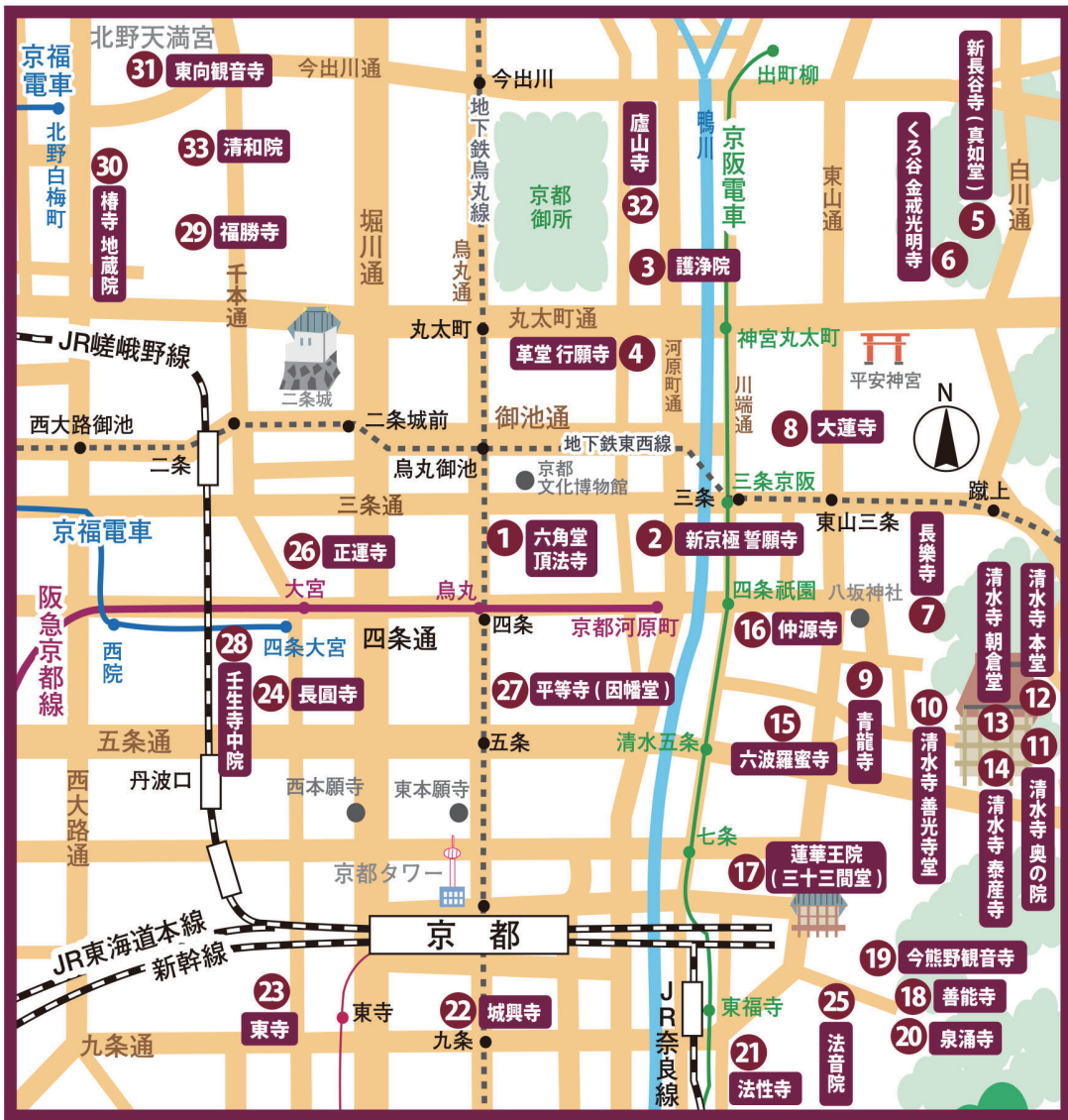
- ・香老舗 松栄堂 ・種田 ・京都 北山 マールブランシュ
- ・京つけもの 西利 ・七味家本舗 ・祇園辻利 ・豆政
- ・いづら ・聖護院八ツ橋 ・京つけもの 大安
- ・五建外良屋 ・ゆりや いっぷく ・福寿園



洛陽三十三所観音霊場再興二十周年記念

京都 観音めぐり

出開帳・お砂踏み巡礼



平成洛陽三十三所観音霊場とは

平安時代、各地の観音様を巡礼することが盛んに行われ、西国三十三所観音霊場巡礼が成立しました。洛陽三十三所観音霊場巡礼は、後白河天皇（1127-1192）が広域で巡礼が困難な西国巡礼に代わり定められたのが起源とされています。

その後、応仁の乱（1467-1477）の頃に一旦衰退しますが、江戸時代寛文5年（1665）に改めて霊元天皇（1654-1732）の勅願により京都の三十三所観音霊場が定められました。当時、多数出版された京都名所案内記にも記されるようになり、現世と来世の安楽が得られ、またみやこ周辺だけで三十三所を巡れる簡便さから、貴族から庶民に至るまで多くの巡礼者を集めました。

明治維新以降、再び京都の三十三所観音霊場は廃れてしまいました。が、平成17年（2005）に平成洛陽三十三所観音霊場会が結成され、新たな三十三所として復興致しました。

世界情勢を鑑みても非常に殺伐とした現代に、「日々」に感謝し心豊かに生きる素晴らしさを再確認すべく結成された平成洛陽三十三所観音霊場会の基本理念をより多くのみなさまにお伝えしたく、復興20周年にあたる2025年12月31日までの期間を『京都観音めぐり』洛陽三十三所観音霊場再興二十周年』として様々な記念行事を開催しています。

出開帳（でがいちよう）とお砂踏み

出開帳とは、寺院の本尊や秘仏などを他の土地に運んで公開する行事です。寺社が秘蔵している仏像や霊宝などを一定期間、境内から他所に出張して公開することを指します。近世以降盛んになり、とくに信濃善光寺の阿弥陀如来、成田山新勝寺の不動明王などの江戸出開帳は、庶民の行楽として隆盛をきわめたとされています。

今回の洛陽三十三所観音霊場の出開帳におきましては、各札所寺院の観音様について特別にご許可を頂き写し仏として軸装に仕立てました。また、各札所寺院から持ちよった御砂を足下に設置し、それを踏みながらお参りすることで、洛陽三十三所を巡ったことと同じ功德をいただけるかとされています。

洛陽三十三所観音霊場会の観音様三十三体を一堂に会してお参りできるのはこの出開帳のみとなっております。ぜひ一度「御砂踏み」を通して洛陽三十三所観音巡礼の魅力の一端に触れ、いつの日か実際の京都洛陽の霊場へお参りくださることを心よりお待ちしております。



お砂踏み巡礼に参加いただきました方には記念散華 贈呈

お問い合わせ

平成洛陽三十三所観音霊場会事務局まで
京都市下京区松原通大宮西入中堂寺西寺町33 長圓寺内

<http://www.rakuyo33.jp/>

☎ 075-841-2903

